

リサイクル燃料貯蔵株式会社	
提出日	2022年3月16日
管理表No.	0209-34 改訂00

項目	コメント内容
材料及び構造 (第14条)	(0209-34) ・P5 第4-1表(PDF2442)において、貯蔵架台の最高使用温度を130℃とした根拠を説明すること。

(回答)

金属キャスクはトラニオンを介して貯蔵架台に固縛されることから、貯蔵架台の最高使用温度は、トラニオンの最高使用温度と同値としている。トラニオンの最高使用温度は、軸方向の除熱解析モデルの解析結果におけるトラニオン取付部より内側の胴部内面温度120℃から設定し保守的に130℃としている。

(設2-補-006改1 使用済燃料貯蔵設備本体の強度及び耐食性について) 3.1 最高使用温度について 及び 別紙3-1 参照)

以上